

# ふるさとのうた

剣淵文化協会俳句部



洗米の手にも軽やか水温む

西町 金澤頼子

撓しなやかにもどる庭木や春夕焼け

元町 印牧安子

水温む八十路の指にやさしけり

仲町 坂部和子

余寒しむ霊水を吸む列続く

元町 西崎弘子

常備菜作り置きする春嵐

仲町 梅基文子

雪割や水の溜りを誘い出す

旭町 大河博子

風花や夢見ることくふわふわと

西町 岸波君江

彼岸会ひがんえの二連の数珠の解けたり

西町 杉浦とし枝

嫌いやなことやめてスッキリ春うらら

藤本町 鈴木ゆき子

春愁や至福の一時脳ドリル

西岡町 高瀬久美子

記念日に選ぶ可憐なスイートピー

東町 高橋世津子

逃げ水の道を作りて子等はねる

西町 文梨清子

今日といふ晴れ間に勉強いそしみぬ

仲町 芳賀星子

早ばやと春休みの子二月尽

西原町 児玉久美子

手をとりて支えらる身や春崩落

緑町 池田良子

わりきつて春泥を踏むひとりかな

仲町 玉野研一